

TOSHIBA

東芝ワイヤードリモコン 〈取扱説明書用〉 操作説明書

形名

RBC-AMT31

お知らせ

- ・ RBC-AMT31のリモコンを使用する場合はこの説明書をお読みください。
- ・ リモコン操作以外の据付説明については、エアコン本体に付属している取扱説明書をご覧ください。

対象室内ユニット

〈天井カセット形（4方向吹出しタイプ）〉

AIU-AP401~631H,HR,HRJ

AIU-AP711~1601H,HR

MMU-AP281~1601H,HRJ

THI-UP631~1601R

〈天井カセット形（2方向吹出しタイプ）〉

AIU-AP401~631WH,WHR,WHRJ

AIU-AP711~1601WH,WHR

MMU-AP221~1601WH,WHRJ

〈天井カセット形（1方向吹出し小形タイプ）〉

MMU-AP281~361YH

〈天井カセット形（1方向吹出しタイプ）〉

AIU-AP401~801SH

MMU-AP451~711SH

〈天井埋込形（ビルトインタイプ）〉

AID-AP402~632BH,BHR,BHRJ

AID-AP712~1602BH,BHR

MMD-AP221~1601BH,BHRJ

THI-BP1121~1601R

〈天井埋込形（ダクトタイプ）〉

AID-AP561~1401H

MMD-AP561~2801H

〈天井吊形〉

AIC-AP402~632H,HR,HRJ

AIC-AP802~1602H,HR

MMC-AP451~1601H,HRJ

THI-CP801~1601R

〈壁掛形〉

MMK-AP281~711H

〈床置形（サイドタイプ）〉

MML-AP281~711H

〈床置形（ローボーイ埋込タイプ）〉

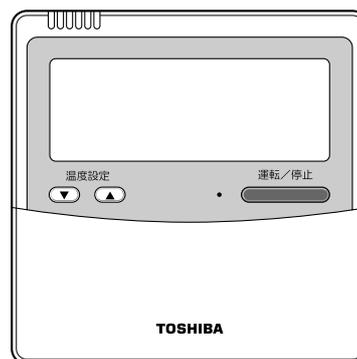
MML-AP281~711BH

〈天井吊形厨房用〉

MMC-AP811~1401PH

〈床置形（スタンドタイプ）〉

MMF-AP451~1601H



もくじ

安全上のご注意	1
リモコンのなまえとはたらき	2
正しい使いかた	4
タイマー運転	5
オートグリルの操作方法	6
風向調節	7
お手入れ	10
故障診断	10

- この商品を安全に正しく使用していただくために、お使いになる前にこの操作説明書をよくお読みになり十分に理解してください。
- お読みになった後は、お使いになる方がいつでも見られるところに必ず保管してください。また、お使いになる方が代わられた場合は必ず本書をお渡しください。

安全上のご注意

●お使いになる人や他の人への危害、財産への損害を未然に防止するための安全に関する重大な内容を記載しています。つぎの内容（表示・図記号）をよく理解してから本文をお読みにになり、記載事項をお守りください。

表示の説明



警告

“取り扱いを誤った場合、使用者が死亡または重傷（*1）を負うことが想定される内容”を示します。



注意

“取り扱いを誤った場合、使用者が傷害（*2）を負うことが想定されるか、または物的損害（*3）の発生が想定される内容”を示します。

*1:重傷とは、失明やけが、やけど（高温・低温）、感電、骨折、中毒などで、後遺症が残るものおよび治療に入院・長期の通院を要するものをさします。

*2:傷害とは、治療に入院や長期の通院を要さない、けが、やけど、感電などをさします。

*3:物的損害とは、家屋・家財および家畜・ペット等にかかわる拡大損害をさします。

図記号の説明



禁止

⊘は、禁止（してはいけないこと）を示します。具体的な禁止内容は、図記号の中や近くに絵や文章で指示します。



指示

●は、指示する行為の強制（必ずすること）を示します。具体的な指示内容は、図記号の中や近くに絵や文章で指示します。



注意

△は、注意を示します。具体的な注意内容は、図記号の中や近くに絵や文章で指示します。

警告

据え付け上の警告

据え付けは、お買い上げの販売店または専門業者に依頼する

据え付けには専門の知識と技術が必要です。

ご自分で据え付け工事をされ不備があると、火災・感電・けが・水漏れなどの原因になります。



据え付けを依頼する

別売品は必ず弊社指定の製品を使用する

別売品は、必ず弊社指定の製品を使用してください。指定以外の製品を使用すると、火災・感電・水漏れなどの原因になります。また、取り付けは専門の業者に依頼してください。



指定製品を使用する

使用上の警告

異常時（こげ臭いなど）は、運転を停止して手元電源スイッチを切り、お買い上げの販売店または東芝家電修理ご相談センターへ連絡する

異常のまま運転を続けると火災・感電・故障などの原因になります。



手元電源スイッチを切る

注意

使用上の注意

ぬれた手でスイッチを操作しない
感電の原因になります。



禁止

掃除をするときは、必ず運転を停止して手元電源スイッチを切る

内部でファンが高速回転していますのでけがの原因になります。

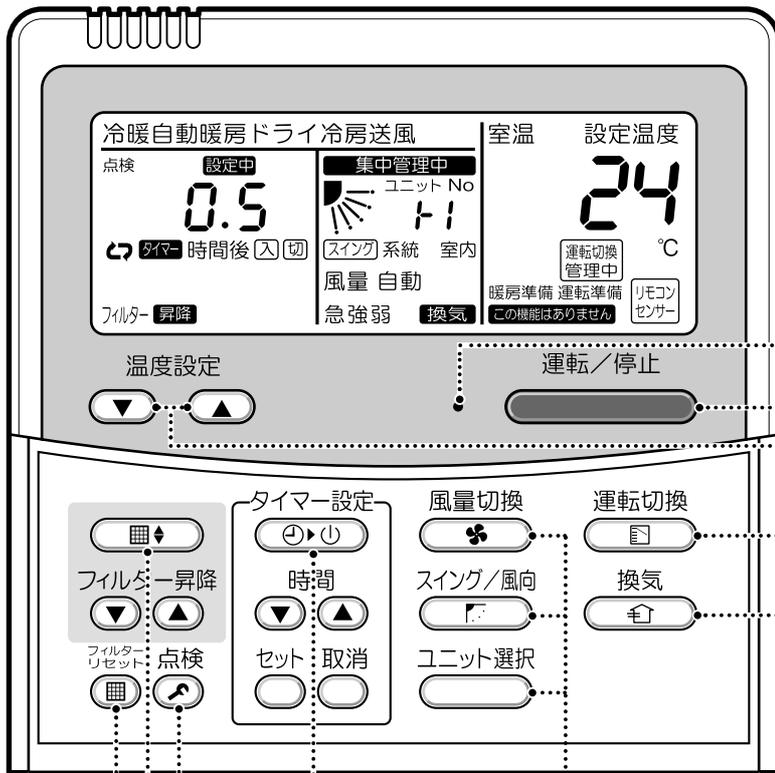


手元電源スイッチを切る

リモコンのなまえとはたらき

操作部

- このリモコン1台で、室内ユニットを最大8台まで運転することができます。
- 一度運転内容を設定すると、その後は運転/停止ボタンを押すだけでご使用になれます。



運転ランプ

運転中に点灯します。
異常時、保護装置動作時は点滅します。

運転/停止ボタン

ボタンを押すとまもなく運転、もう一度押すとまもなく停止します。

温度設定ボタン

室温調節をします。
▼▲を押して好みの設定温度に合わせます。

おすすめ温度	
冷房	(26~28℃)
暖房	(22~24℃)

運転切換ボタン

好みの運転モードを表示選択します。
マルチシステムの場合冷暖フレックスのみ「冷暖自動」表示選択可能です。

換気ボタン

市販の換気扇等を接続したときに使用します。
換気ボタンを押すと換気扇が運転、停止します。
エアコンを運転、停止したときは、換気扇も同時に運転、停止します。
※換気ボタンを押したとき、リモコンの表示部に「この機能はありません」が表示された場合は換気扇が接続されていません。

風量切換ボタン

好みの風量モードを表示選択します。
●天埋ダクトタイプにはこの機能はありません。
風量 急のみ表示します。

スイング/風向ボタン

自動スイングやフラップの角度を設定します。
●ビルトインダクト・天埋ダクト・床置形ローボーイ埋込・床置形サイドタイプ・天井吊形厨房用にはこの機能はありません。

ユニット選択ボタン

1台のリモコンで室内ユニットを複数台運転している場合、風向調節時や昇降グリルの操作時にユニットを選択します。

フィルターリセットボタン

「フィルター」表示をリセット（消灯）します。

フィルター昇降ボタン

別売のオートグリルパネル・オートグリルキットを取り付けたときに使用します。
(天カセ4方向タイプ・天井吊形のみ)

点検ボタン

サービス時に使用します。
※通常は使用しないでください。

タイマー設定ボタン

タイマー設定時に使用します。

リモコンセンサー

通常は室内ユニットの温度センサーが温度を感知していますが、リモコン周辺の温度を感知させることもできます。詳しくはお買いあがりの販売店にご相談ください。

- グループ制御時は設定しないでください。

リモコンのなまえとはたらき (つづき)

表示部 表示例は説明のためすべて表示してあります。実際は選択した内容の表示となります。

●漏電ブレーカーを最初に入れたとき、リモコンの表示部に**設定中**が点滅します。

この表示中は自動機種確認中ですので**設定中**が消えた後リモコンの操作を行ってください。

運転切換表示

お好みの運転モードを表示します。
マルチシステムの場合冷暖フレックスのみ「冷暖自動」表示選択可能です。

設定中表示

タイマー設定中等に表示します。

タイマー時間表示

タイマーの時間を表示します。
(異常時には点検コードを表示します)

点検表示

保護装置動作時および異常時に表示します。

集中管理中表示

集中管理リモコンなどと組み合わせてご使用の場合に表示します。

集中管理側でリモコン禁止を設定している場合、運転/停止・運転切換・温度設定のボタンを操作したとき**集中管理中**が点滅し、変更を受け付けません。(集中管理モードにより、リモコンで設定出来る内容が異なります。詳しくは集中管理リモコンの取扱説明書をご確認ください)

ユニットNo表示

ユニット選択ボタンで選択されている室内ユニットや異常表示をしている室内・外ユニットのユニットNoを表示します。

設定温度表示

選択した設定温度を表示します。

フラップ位置表示

フラップの位置を表示します。
(4方向天カセタイプ・天井吊形のみ)

運転切換管理中表示

エアコンの管理者によって運転モードが冷房または暖房に固定されているときに「運転切換」ボタンを押すと表示されます。

リモコンセンサー表示

リモコンセンサー使用時に表示します。

運転準備表示

機種によって表示する場合があります。

機能なし表示

ボタンを押しても機能がないうちに表示します。

暖房準備表示

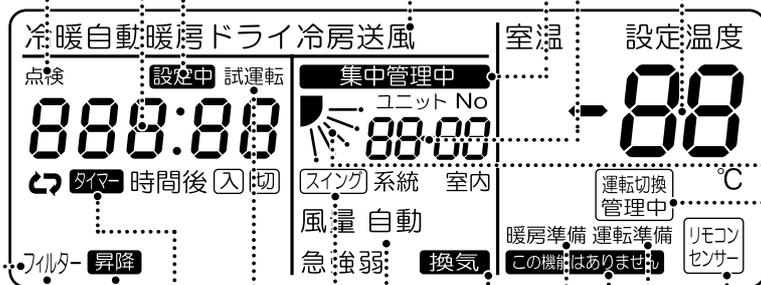
暖房運転開始時または除霜運転時に表示します。
表示中は室内送風機が停止、または送風運転になります。

換気運転表示

市販の換気扇等を接続したとき、換気扇が運転中に表示します。

風量切換表示

選択した風量モードを表示します。風量 自動・風量 急・風量 強・風量 弱のいずれかを表示します。
●天埋ダクトタイプは風量 急のみ表示します。



フィルター表示

この表示が点灯したらエアフィルターの掃除をしてください。

昇降グリル表示

別売のオートグリルパネル・オートグリルキットを接続したとき、フィルター昇降ボタンを押すと表示します。
(天カセ4方向タイプ・天井吊形のみ)

タイマー設定表示

タイマー設定ボタンを押すと、
[切]切タイマー → [↺]繰り返し切タイマー → [入]入タイマー → 表示なしの順に切り換わります。

試運転表示

試運転中に表示します。

スイング表示

フラップの上下動作中に表示します。

正しい使いかた

はじめてお使いのときや設定を変えるときは、次の手順で操作してください。
次回から 運転/停止 ボタンを押すだけで操作した設定内容の運転を開始します。

準備

漏電ブレーカーを入れる

- 電源が入ると、リモコン表示部に仕切線が表示されます。
※電源が入ったあと、約1分間はリモコンが操作を受けつけませんが、故障ではありません。



お願い

- 使用期間中は漏電ブレーカーを切らないでください。
- 長期間停止後/運転開始をするときは、12時間以上前に漏電ブレーカーを入れてください。

運転のしかた

1

運転/停止 を押して運転する

- 運転ランプが点灯します。

2

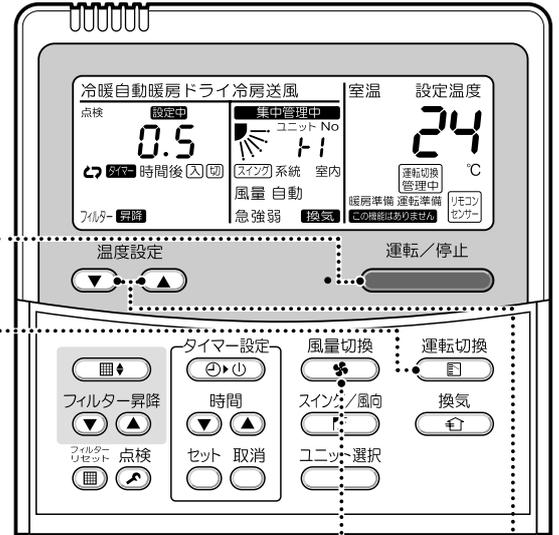
運転切換 を押して「運転の種類」を選ぶ

- ボタンを押すたびに運転表示が変わります。
- 冷暖自動 → 暖房 → ドライ → 冷房 → 送風
- マルチシステムの場合冷暖フレックスのみ「冷暖自動」表示選択可能です。
 - 天理ダクトタイプには「ドライ」機能はありません。

3

運転/停止 を押して運転を止める

- 運転ランプが消えます。



風量を変えるとき

風量切換 を押して選ぶ

- 押すたびに表示が変わります。
- 風量自動 → 風量急 → 風量強 → 風量弱
- 暖房時、風量「弱」で運転して暖まりがよくない場合は、風量を「急」・「強」に切り換えてください。
 - 温度センサーが感じる温度は室内ユニット吸込口付近の温度ですので、据付状態により室温とは多少異なります。設定数値は室温の目安です。(送風時は風量自動を選ばません)
 - 天理ダクトタイプには「風量切換」機能はありません。風量 急のみ表示します。

温度を変えるとき

温度設定 を押して選ぶ

- ▲ を押すと温度が上がり、▼ を押すと温度が下がります。(送風時は温度の設定ができません)

おすすめの設定温度

暖房	22~24℃
ドライ	室温より2~3℃低め
冷房	26~28℃

お知らせ

冷房のとき

- 約1分後に運転を開始します。

冷暖自動のとき

- 設定温度と室温の差によって暖房・冷房運転を自動的に切り換えます。

暖房のとき

- 暖房運転の場合は停止後30秒ほど送風運転を続ける場合があります。
- 室内送風機は停止したままで3~5分間予熱運転した後、温風を吹き出します。(リモコン表示部の「暖房準備」表示が点灯します。)

- お部屋の温度が設定温度に達して、室外機が停止しているときは微風となり風量が極端に小さくなります。

タイマー運転

3つのタイマーの種類が選べます。(168時間の設定ができます)

切タイマー

設定時間になると運転を停止します。

繰り返し切タイマー

毎回、設定時間後運転を停止します。

入タイマー

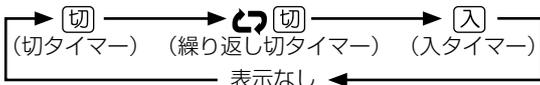
設定時間になると運転を開始します。

タイマー運転のしかた

1

タイマー設定
を押す

- ボタンを押すたびにタイマーの表示(種類)が変わります。



- 設定中と時間表示が点滅します。

2

時間
を押して「設定時間」を選ぶ

- を押すごとに設定時間を0.5時間(30分)単位で増加します。1d(24時間)以上は1時間単位で増加します。上限は7d(168時間)です。

リモコンの表示は0.5時間から23.5時間(*1)までは設定時間の数字です。24時間以上(*2)は日数と時間で表示します。

- を押すごとに設定単位を0.5時間(30分)単位(0.5時間から23.5時間)または1時間単位(24時間から168時間)で減少します

リモコンの表示例

- 23.5Hの場合(*1)



- 34Hの場合(*2)

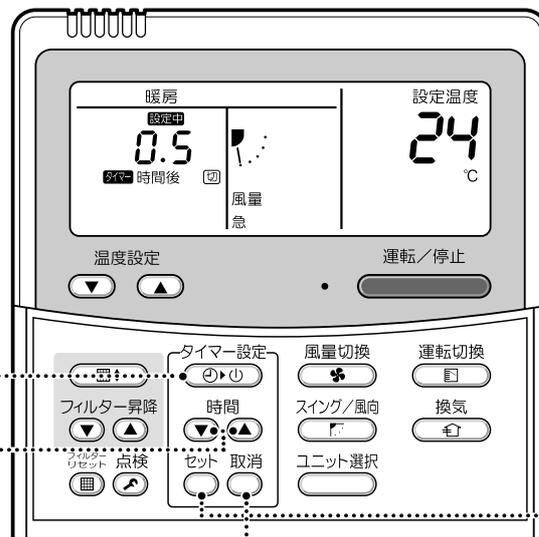


1d は1日(24時間)を表わします。
10h は10時間を表わします。
(合計34時間)

3

セット
を押す

- 設定中が消えて時間表示が点灯し、(入)または(切)が点滅します。(入タイマーのときは時間表示、タイマー時間後(入)以外の表示が消灯します。)



お知らせ

- 繰り返し切タイマーは、設定時間後に運転を停止したあと、再び 運転/停止 を押すと運転を再開し設定時間後運転を停止します。
- RBC-AMT21と2リモコン制御をしている場合、有効設定時間は3日(72時間)以内となります。タイマー設定時間を3日間(72時間)を超えて設定した場合、作動時間にずれが発生する場合があります。

タイマー運転取り消しのしかた

取消
を押す

- タイマー表示が消えます。

オートグリルの操作方法

(天カセ4方向タイプに別売のオートグリルパネル・天井吊形にオートグリルキットを取り付けてある場合)

- 昇降グリルの操作（下降・停止・上昇）を行うとき、操作ボタンを押してから、昇降グリルが下降・停止・上昇するまで数秒、時間がかかります。
- オートグリルについての詳しい説明は、オートグリルパネル・オートグリルキットに付属されている取扱説明書をご覧ください。

操作のしかた

1

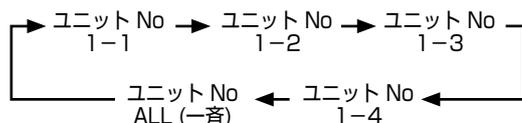
 を4秒以上押す

- リモコンに“フィルター 昇降”が点滅します。
(室内ユニットの運転は停止します)
- ※この機能はありませんが表示されたとき、オートグリルパネル・オートグリルキットは接続されていません。

2

 を押して、操作する室内ユニットを選択する

- 1台のリモコンで室内ユニットを複数台運転している場合（グループ制御）、リモコンに“ユニット No”が表示されます。
-  を押すごとに次のように切り換わります。
(例)室外ユニット1台に室内ユニット4台接続

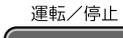


3

フィルター昇降  を押す

- 昇降グリルは、ゆっくりと降りてきます。障害物に当たったとき、昇降グリルは停止します。

4

 を押して停止させる

- 昇降グリルの下降、上昇が停止します。停止を押さないで下げていくと、約2m下降したところで停止します。
- ※下降中または上昇中に次の操作を行うときは必ず、一度停止をしてから行ってください。

5

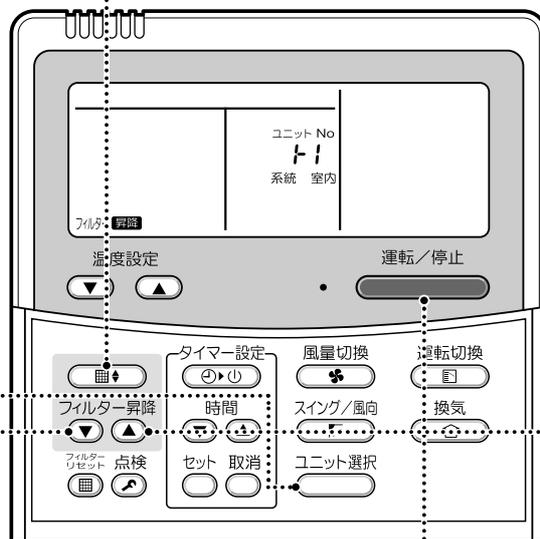
フィルター昇降  を押す

- 昇降グリルが上昇します。昇降グリルが吸込口に、きちんと収まると数秒後にモーターが停止します。
- ※モーターが停止したことを確認してください。

6

 を押す

- リモコンの“フィルター 昇降”が消え設定中が点滅します。
- ※昇降グリルが動作中に  を押すと昇降グリルは停止して、リモコンの表示が消えます。再度、昇降グリルを動かしたいときは、『1』に戻ってください。



風向調節

冷暖房効果を高めるために吹出フラップは冷房運転と暖房運転で必ず使い分けてください。

空気の特徴として冷たい空気は下にたまり、暖かい空気は上にたまります。

⚠ 注意

冷房運転時はフラップを水平吹き出しの状態にする

下吹き出しの状態ですと冷房運転しますと吹出口やフラップの表面に露がつき、滴下する原因になります。

🙏 お願い

- 水平吹き出しの状態ですと暖房運転しますと、お部屋の温度ムラが大きくなる可能性があります。

お知らせ

- 下吹き出しの状態ですとキャビネットや水平フラップの表面に露がつき滴下することがあります。
- 水平吹き出しの状態ですと暖房運転しますとお部屋の温度ムラが大きくなる可能性があります。
- 水平フラップを直接手で動かすことはやめてください。故障の原因になります。水平フラップの向きはリモコンのフラップ運転スイッチで切り換えてください。水平フラップはスイッチを押してもすぐ止まりません。停止位置を加減してスイッチを押してください。

天井カセット形4方向吹出しタイプ

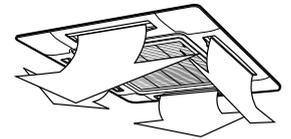
冷房運転時

吹出フラップを水平吹き出しでお使いください



暖房運転時

吹出フラップを下吹き出しでお使いください



- 停止時には吹出フラップが自動的に下向きになります。
- 暖房準備時には吹出フラップが上向きになります。また、スイングは暖房準備解除後に行いますが、リモコンには暖房準備中でもスイング表示されます。

風向きを設定するときは

運転中に スイング/風向 を押し

- ボタンを押すたびに風向きが変わります。

暖房時

吹出フラップは下向きにしてください。上向きにしますと温風が足元まで届かないことがあります。



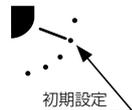
冷房・ドライ時

吹出フラップは上向きにしてください。下向きにしますと吹出口付近に露が付着したり、滴下することがあります。



送風時

お好みの風向に設定してください。

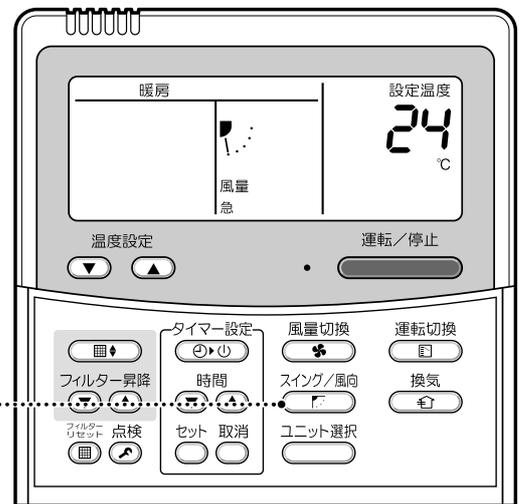


スイングさせるときは

スイング/風向 を押し、吹出フラップの向きを1番下に設定し、もう1度 スイング/風向 を押し

- **スイング** が表示され、フラップがスイングします。

すべての運転時



**スイングを止めるときは
吹出フラップのスイング中にお好みの位置で**

スイング/風向
を押す

●その後 スイング/風向
を押すと再び風向きを1番上から設定で
きます。

※ただし、スイング中に スイング/風向
を押しても下記
表示となり、風向きを1番上に設定することが
できないことがあります。

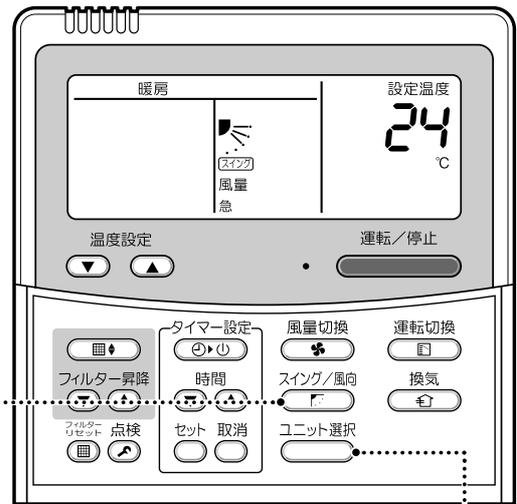
スイングを止めたときの表示



この場合は、2秒後にもう一度 スイング/風向
を押してください。

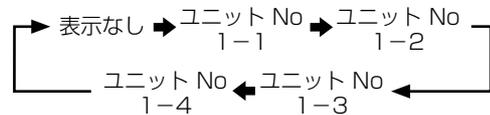
※冷房・ドライ時には吹出フラップは下向きでは止
まりません。スイング中に吹出フラップ下向きの
状態で止めても、上から3番目の位置まで動いて
から止まります。

スイングを止めたときの表示



ユニット選択ボタンについて

- 1台のリモコンで複数の室内ユニットを運転している場合、室内ユニットを選択して、それぞれの室内ユニットの風向設定ができます。
- 個別に風向設定するときは **ユニット選択** を押し、グループ制御されている室内ユニットNoを表示します。表示されている室内ユニットに対して風向きを設定してください。
- 表示なしの時は、室内ユニットを一斉に操作することができます。
- **ユニット選択** を押すごとに次のような順序で表示が切り替わります。



天井カセット形2方向吹出しタイプ・天井カセット形1方向吹出しタイプ・床置形スタンドタイプ

	冷房運転時	暖房運転時
天井カセット形 2方向吹出し タイプ	吹出フラップを水平吹き出しでお使いください。 	吹出フラップを下吹き出しでお使いください。
天井カセット形 1方向吹出し タイプ	お部屋全体に冷風が行きわたるように、フラップを水平吹き出しでお使いください。 	足元に暖かい空気が行くように、フラップを下吹き出しでお使いください。
床置形 スタンド タイプ	お部屋全体に冷風が行きわたるように、フラップを手で動かし、水平吹き出しでお使いください。 	足元に暖かい空気が行くように、フラップを手で動かし、下吹き出しでお使いください。

お手入れ

お手入れをするときは、必ず手元電源スイッチを切ってください。



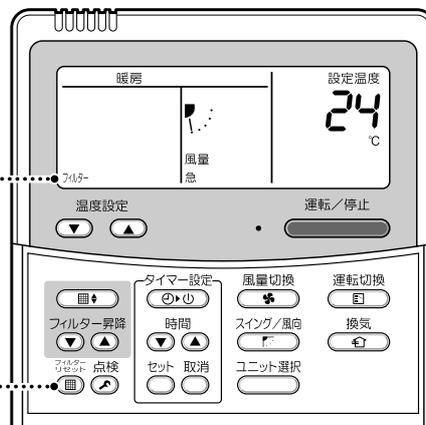
注意 めれた手でボタンを操作しない
感電の原因になります。

日常

エアフィルターのお掃除

- リモコンに「フィルター」が表示されたらエアフィルターのお手入れをしてください。
- エアフィルターの目づまりは、冷・暖房効果が下がります。
- 掃除が完了したら  を押してください。

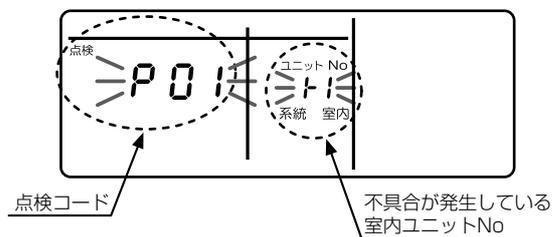
「フィルター」表示が消えます。



故障診断

確認と点検

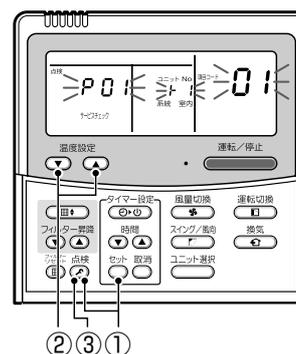
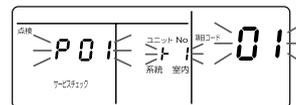
エアコンに不具合が発生した場合、リモコン表示部に点検コードと室内ユニットNoが表示されます。
点検コードは、運転中にのみ表示されます。
表示が消えてしまった場合は、下記の『故障履歴の確認』に従って操作し確認してください。



故障履歴の確認

エアコンに不具合が発生した場合、以下の手順で故障履歴を確認できます。(故障履歴は4つまでメモリされます。)
運転および停止状態のどちらからでも確認できます。

手順	操作内容
①	<p>「セット」 + 「点検」 ボタンを4秒以上同時に押すと、しばらくして表示部が図のように表示されます。 表示部に「サービスチェック」が表示されると、故障履歴モードに入ったことを示します。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 項目コードに、〔01 : 故障履歴の順番〕が表示されます。 ・ 点検に〔点検コード〕が表示されます。 ・ 室内ユニットNoに〔不具合が発生した室内ユニットアドレス〕が表示されます。
②	<p>温度設定の「▼/▲」 ボタンを押すごとに、メモリされている故障履歴が順番に表示されます。 項目コードは、項目コード〔01〕(最新) …→項目コード〔04〕(一番古い) を示します。</p> <p>お願い</p> <p>「取消」 ボタンを押すと、室内ユニットの故障履歴が全て消去されますので、押さないでください。</p>
③	確認できたら「点検」 ボタンを押して通常表示に戻ります。



保証とアフターサービス (必ずお読みください)

ご不明な点や修理に関するご相談は

修理に関するご相談ならびに、お取り扱い・お手入れに関するご不明な点は **お買いあげの販売店にご相談ください。**

ご転居されたり、ご贈答品などで
販売店に修理のご相談ができない場合

東芝家電修理ご相談センター



0120-1048-41

携帯電話・PHSからのご利用は

東日本地区 (北海道、東北、関東、山梨県) 044-543-0220

西日本地区 (静岡県、新潟県、沖縄県) 06-6440-4411

電話で **24時間**
365日 お応えします

新製品などの商品選び、
お取り扱い・お手入れ方法などのご相談

東芝家電ご相談センター



0120-1048-86

携帯電話・PHSからのご利用は 03-3426-1048

FAX 03-3425-2101 (365日: 8:00~20:00受付)

※電話受付: 365日・24時間受け付けます。

※フリーダイヤルは、携帯電話・PHSなど一部の電話ではご利用になれません。

保証書 (別添)

この東芝マルチシステムエアコン・パッケージエアコンには、保証書を別途添付しております。

- 保証書は、必ず「お買い上げ日、販売店名」などの記入をお確かめの上、販売店から受け取っていただき、内容をよくお読みの後、大切に保管してください。
- この東芝マルチシステムエアコン・パッケージエアコンの保証期間は、お買い上げいただいた日から1年間です。その他、詳しくは保証書をご覧ください。

補修用性能部品の保有期間

- マルチシステムエアコン・パッケージエアコンの補修用性能部品の保有期間は製造打ち切り後9年です。
- 補修用性能部品とは、その製品の機能を維持するために必要な部品です。

修理を依頼されるときは

(出張修理になります)

ご使用中に異常が生じたときは、お使いになるのをやめ、手元電源スイッチを切ってから、お買い上げの販売店にご連絡ください。修理は専門の技術が必要です。

保証期間中は

修理に関しては保証書をご覧ください。保証書の規定にしたがって販売店が修理させていただきます。

保証期間が過ぎているときは

修理すればご使用できる場合にはご希望により有料で修理させていただきます。

ご連絡していただきたい内容

品名	マルチシステムエアコン・パッケージエアコン
形名	装置銘板に記載
お買い上げ日	年 月 日
故障の状況	できるだけ具体的に
ご住所	付近の目印なども合わせてお知らせください。
お名前	電話番号 訪問希望日

記入されておくと便利です。

お買い上げ店名

電話番号

修理料金の仕組み

修理代は技術料・部品代・出張料から構成されています。

技術料	故障した商品を正常に修復するための料金です。
部品代	修理に使用した部品代金です。
出張料	商品のある場所へ技術者を派遣する料金です。

東芝キャリア株式会社

〒416-8521 静岡県富士市蓼原336番地